

## 2012年2月の二火会・三浦半島・城ヶ島散歩

山ならぬ海岸歩きの計画を立てたので参加者がいないのではないかと心配していましたのと、ずーと好天続きだった空模様も急に雨のマークがつく天気にも見放された感じでしたが、鹿児島からかけつけて下さった深田さんと池田さんが連れて下さった山ガール2名他全員 8名で出発することになりました。9時半すぎに京急三崎口に集まり9時51分発のバスに20分ゆられ城が島大橋で下車する。長い大橋を廻りの景色は見ませんが橋の下はカモメが飛び交っていた。橋を渡るのに10分かかって白秋記念碑の海岸に着いた。全員記念写真を撮った後、記念館に入る。記念館は月曜日が休館だったので開館していて助かった。館の中は白秋と関係のあった作家などの書簡などが掲示されていた。11時立派なトイレで用を済ませ城が島公園に向って歩き出す。道の両側は水仙が今を満開に咲き続けている。駐車場を左にウミウ展望台に向う頃からパラパラと予定通り降り出し、傘をさして歩き続け海岸の砂浜に下りる。海岸に降りて振り返れば浸食された海蝕洞窟で馬の背中に似ていることから「馬の背洞門」と呼ばれる造形が見られる。何時のまにか雨も止んできたので砂浜を波打ちぎわ沿いに歩いて灯台を目指す。そろそろお腹も空いてきたので灯台の手前に開店していたミナト屋さんに入り昼食とする。丁度12時だった。平日の上に空も曇っているのでお客さんはなく、我々のみと云つていい位、お店がシャッターを下ろしてミナト屋さんのみだった。ミナトさんは宿泊も入浴も出来て、お弁当の持ち込みもOKだったので助かった。ゆっくりと昼食を食べ、一品注文をとって大きな煮魚が食べきれなくお持ち帰りにしていただいた。2時前に食堂を出て灯台に歩いて行き、灯台の歴史を勉強し高台から海の広さを眺めてバスの人となる。二火会はじまって初めての、海辺の散策が終わった。バス14時46分発、三崎口15時15分、京急15時26分で夫々家時に着いた。

文責 織田澤

参加者 池田真由美、織田澤美知子、児島和夫、清水千枝子、下野武司、  
千葉奈央子、深田美好、宮澤真華 以上8名



城が島大橋と白秋記念碑の前で・・・



昼食を楽しんだ、港屋さんの中庭で笑顔の参加者

